

#2 小児科 専門研修プログラムの紹介

国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター

小児科専門研修の基幹病院として 高度な専門医療を幅広く経験できる

四国こどもとおとなの医療センター

総合周産期母子医療センター 副部長・新生児内科医長 久保井 徹

当院は小児科専門研修の基幹施設であり、新生児疾患、感染症、アレルギー性疾患、神経・筋疾患、腎・尿路疾患、循環器疾患、リウマチ性疾患、血液・悪性疾患、内分泌・代謝疾患、救急の



ほか、外科、心臓血管外科、整形外科など、小児の外科系も充実しています。さらに、小児、周産期だけではなく、重症心身障害児(者)の治療も行っており、小児のさまざまな疾患を子どもが成人するまでの連続した医療として幅広く学ぶことができ、小児科におけるサブスペシャルティ分野の専門医取得も可能です。

通常、こうした大きなセンター病院は大学の関連施設であることが多いですが、当院は香川大学、徳

島大学、愛媛大学などの“連携”施設であり、たとえば将来、愛媛県で働きたい人は当院を基幹施設とした3年の専門研修プログラムのうち、2年を当院で、1年を愛媛大学で行うという研修も可能です。当院は小児医療における四国の大学病院や市中病院のハブ病院のような位置づけであり、人的交流も非常に盛んです。さらに、香川大学大学院医学系研究科の連携講座であるため、当院で臨床経験を積みながら博士号も取得可能であり、研究マインドや国際的な教養も習得していただくことができます。

また、直直明けは必ずオフにするなど、しっかり休んで気持ちよく働ける環境もみなさんにとって大きな魅力であると思います。



PROFILE

出身地 : 香川県
出身大学 : 香川大学 (2002年卒)
宝物 : 4人の子供と奥さん
座右の銘 : 苦しいときには
茨の道を進め



PROFILE

出身地 : 香川県
出身大学 : 徳島大学 (2003年卒)
宝物 : 家族
座右の銘 : コツコツやれば何とかなる

小児科医として幅広い実力を獲得。 不安なく医療に臨める働きやすさも魅力

四国こどもとおとなの医療センター

成育内科系診療副部長・小児感染症内科医長・小児科医長 岡田 隆文



当院は小児の総合医療施設であり、小児の内科系はもちろん、外科系まで豊富な症例を経験することができます。

通常なら、高度で専門的な治療が必要な重症疾患は大学病院に送ることが多いのですが、当院はNICU、GCU、PICU (こどものICU) を完備し、各診療科が揃った専門性の高い医療を提供しているため、他では難しい小児のさまざまな疾患にも対応する全国でも珍しい病院です。小児科専門医取得のために経験すべき全ての疾患はもちろん、各専門分野での専門医取得のための経験も当院だけで十分にできます。

他科との連携も非常によく、当直でも困ったことがあれば「いつでも呼んで」というような、気軽に相談やコンサルができる環境であるため、不安なく積極的に医療に臨むことができます。また、当院は大学の関連施設ではないため、大学や医局による派閥は一切なく、先生方の出身大学はさまざまであり、

とてもフラットな環境であることも特徴です。

私の専門は小児感染症ですが、小児科医のベースは全身を診ることができる総合内科医であり、さまざまな診療科も診ています。幅広い実力を獲得できることはもちろん、自分の興味のある専門性を深く追求できることも、小児科医として当院で研鑽する大きな魅力だと思います。そして何より、子どもたちを笑顔にできる小児科医療は、他科では経験できない医師としての大きなやりがいと喜びを得ることができるでしょう。



国立病院機構
四国こどもとおとなの
医療センター

所在地 〒765-8507
香川県善通寺市仙遊町2-1-1
WEB <https://shikoku-mc.hosp.go.jp>

病床数 **689** 床 診療科数 **50** 科

四国こどもとおとなの
医療センターの特徴

年間約4,000例の新規入院症例がある小児内科系に加えて、年間約2,000例の手術症例がある小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科などの外科系診療科や産科・新生児科を中心とした総合周産期母子医療センターにおいて、プライマリから幅広い専門的医療まで、小児医療に関する密度の濃い研修が段階的、総合的に実施できるようにしています。